

センリョウの育て方

育てやすさ：★★☆☆☆ そだてやすい

日当たり：半日陰

実がなるまでの年数：2～3年

### 株を健全に育てるには

強い直射日光は葉焼けをおこすので風通しの良い半日陰で育てる

庭植えの場合は適度に土が湿って水はけがよい場所に植える

寒さに弱いので寒風や霜にあたらないようにする

肥料は控えめにする

植え替えの適期 3～4月

用土 赤玉土（中粒）：腐葉土=8：2

### 庭植えの場合

①幅・深さとも根鉢の1.5倍ほどの大きさの穴を掘ります。

②布ポットの場合は側面に切れ目をいれ、そのまま植えます。ポリポットやプラスチック鉢の場合は根鉢を抜き、根を軽くくずします。

③木の根元が地表より数cm高くなるように穴の底に用土を入れ、穴に水を入れながら根となじむように、すき間を用土で埋めます。水を与えると株が沈むので、最初は高めに植えます。

④株もとの用土を手で押しかためます。

※水はけが悪い場所では植穴の底に5cmほど砂利を敷いてから植えます。

### 鉢植えの場合

新芽が地面から伸びてこなくなったら鉢の中がいっぱいになっているので、一回り大きな鉢に植え替えてください。

①根鉢より1回り大きい鉢を用意します。

②布ポットの場合は側面に切れ目をいれ、そのまま植えます。ポリポットやプラスチック鉢の場合は根鉢を抜き、根を軽くくずします。

③鉢に用土を入れ、株を据えたら、水を入れながら根となじむように、すき間を用土で埋めます。

④株もとの用土を手で押しかためます。

**水やり** 乾燥を嫌います。庭植えは土の表面が乾いたら午前中にたっぷりと与えます。鉢植えは土の表面が乾いたらたっぷりと与えます。（真夏は1日に1回）

**肥料** 冬に緩効性化成肥料（N・P・K=10-10-10など）を根元に少量施します。追肥をする場合は開花後の7～8月におこないます。

**剪定** ほとんど必要ありませんが、枝が茂りすぎた場合は12～1月に、実がついている枝を根元で切り、まだ実がついていない若い枝を残します。

※一度実がついた枝には翌年以降、実はつきません。

**実がついたら** 鳥による食害を防ぎたい場合は、防鳥ネットをかけます。

## 病虫害

ほとんど病気は発生しませんが過湿と風通しが悪い状態になると葉腐病を発症することがあります。

### 葉腐病

症状：葉が菌糸に覆われ、腐ります。

予防：風通しのいい場所で育てます。

対処：ベンレート水和剤などを散布します。

### アブラムシ、グンバイムシ、葉ダニ

症状：実や葉の色が悪くなったり、生育が悪くなることがあります。

予防：風通しのいい場所で育てます。

対処：スミチオン乳剤などを散布します。

※薬剤散布に際しては必ず商品の説明をよく読み、記載内容に従って正しく安全に使用してください。